

宇佐市
在宅医療・介護に関する市民アンケート調査結果

令和2年 11月
宇佐市在宅医療・介護連携支援センター

①	調査概要	3
1	調査目的	
2	調査地域	
3	調査対象	
4	対象者抽出方法	
5	調査方法	
6	調査期間	
7	回答結果	
8	調査結果の見方	
②	基礎情報について	
問1	居住圏域	4
問2	性別	4
問3	年齢（年代）	4
問4	家族構成（同居）	4
③	健康状態について	
問5	現在の健康状態	5
問6	かかりつけ医の有無	5
問7	治療中の病気の有無	5
問8	内服薬の有無	5
問9	医療機関の受診回数	6
問10	日常生活の自立度	6
問11	介護認定の有無	6
④	在宅医療・介護について	
問12	（認知度）在宅で受けられる医療	7
	（認知度）在宅で受けられる介護	7
	（認知度）在宅での急変時の対応	7
	（認知度）訪問診療をする病院・診療所	7
	（認知度）訪問看護	7

問 1 3	(イメージ) 在宅医療・介護は家族に負担がかかる	8
	(イメージ) 在宅医療・介護は自分自身に負担がかかる	8
	(イメージ) 在宅で過ごすために環境整備が必要	8
	(イメージ) 在宅で痛みのコントロールをして生活できる	8
	(イメージ) 在宅で満足のいく最期を迎えられる	8
問 1 4	(認知度) 在宅医療・介護に取り組んでいるサービス	9
問 1 5	(認知度) 宇佐市内の入所施設	9
問 1 6	長期療養が必要になった場合の療養場所	10
問 1 7	問 1 6 の理由	10
問 1 8	終末期の療養場所	10
問 1 9	問 1 8 の理由	10
問 2 0	延命治療の希望	11
問 2 1	(認知度) A C P ・ 人生会議	11
問 2 2	エンディングノート、終活ノートの作成	11
問 2 3	(認知度) 当センターが作成した在宅医療・介護に 関するパンフレット	12
問 2 4	在宅医療・介護に関する講演会の参加希望	12
問 2 5	医療・介護を受ける場合、必要と考える情報	12
問 2 6	在宅医療・介護に関しての思い (自由記載)	別紙参照

① 調査概要

1 調査目的

住民の在宅医療・介護に対する意識や終末期の療養の希望を把握し、宇佐市における地域包括ケアシステムの構築や在宅医療・介護の推進の方針検討等の基礎資料とする。

また、この調査を実施することで、在宅医療・介護に関する意識の醸成、啓発につなげる。

2 調査地域

宇佐市全域

3 調査対象

令和2年7月1日現在、住民基本台帳に登録されている、満40歳以上の市民1,500人

4 対象者抽出方法

住民基本台帳から年代別無作為抽出法

5 調査方法

郵送法（調査票の配布・回収とも）

6 調査期間

令和2年7月21日（火）～令和2年8月31日（月）

7 回答結果

回答数 706票

回答率 47%

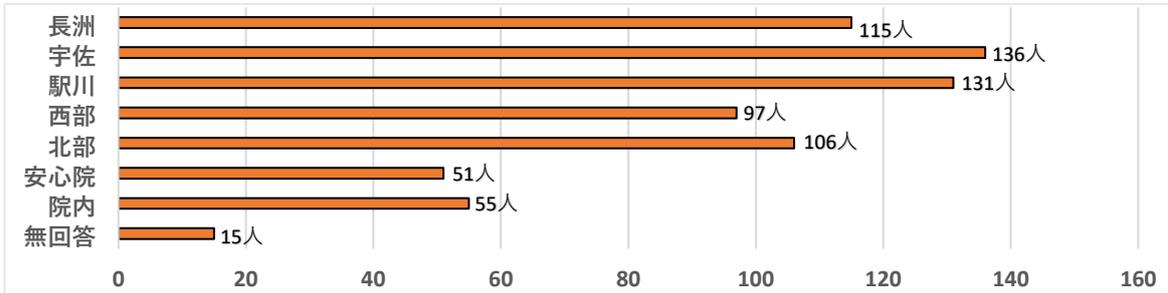
8 調査結果の見方

数値（%）は端数を四捨五入してあるので、総数と内訳の計が一致していないこともある。

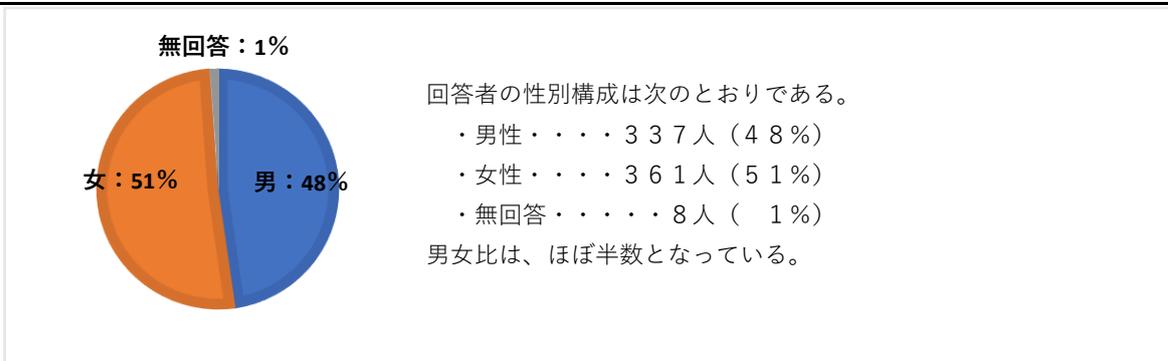
② 基礎情報について

【問1】あなたのお住まいの圏域についてお聞きします。(○はひとつ)

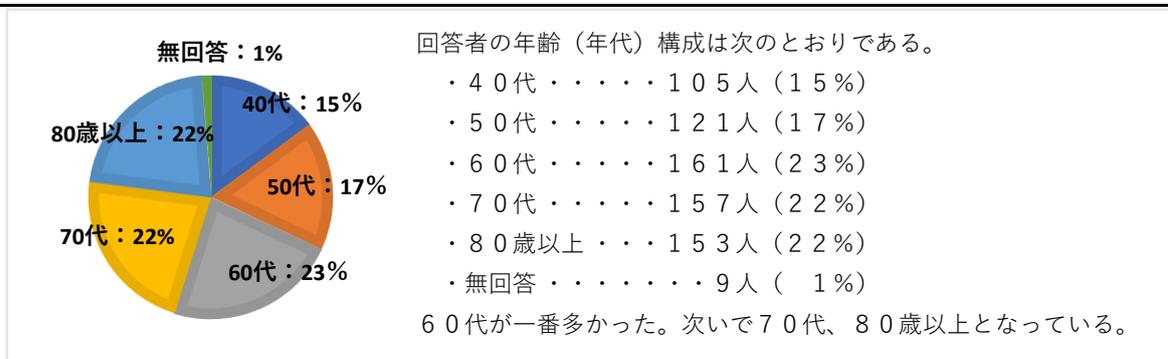
回答者の居住圏域は次のとおりである。



【問2】あなたの性別についてお聞きします。(○はひとつ)



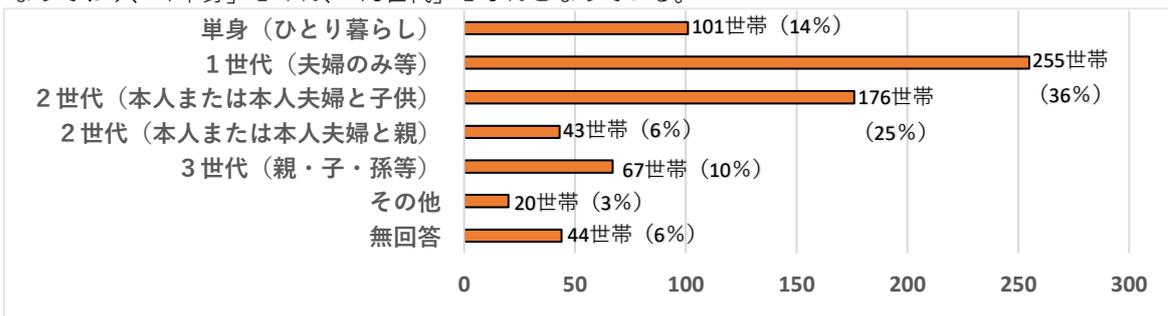
【問3】あなたの年齢(年代)についてお聞きします。(○はひとつ)



【問4】あなたの同居家族についてお聞きします。(○はひとつ)

回答者の家族構成(同居)は次のとおりである。

「夫婦のみ等の1世代世帯」が36%で最も多くなっている。次いで「子供との2世代世帯」が25%となっており、「単身」14%、「3世代」10%となっている。

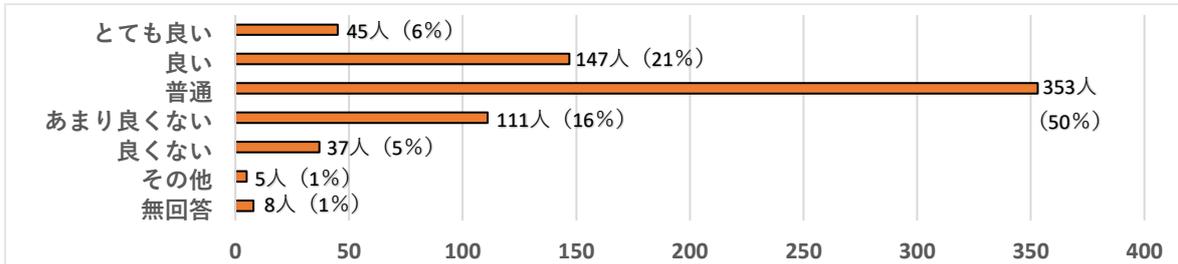


③ 健康状態について

【問5】あなたの健康状態についてお聞きします。(○はひとつ)

回答者の現在の健康状態は次のとおりである。

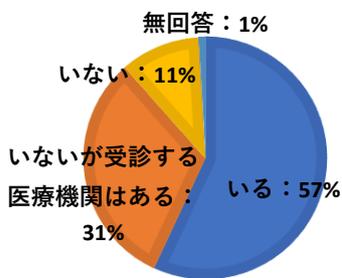
「普通」が50%で最も多く、次いで「良い」が21%となっている。一方、「あまり良くない」「良くない」の回答数を合わせると全体の2割を占めていることがわかる。



【問6】あなたが体調の悪い時に、いつも受診するかかりつけ医はいますか。

(○はひとつ)

回答者のかかりつけ医の有無は次のとおりである。

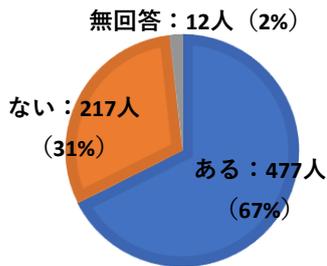


- ・かかりつけ医がいる・・・402人(57%)
- ・かかりつけ医はいるが受診する医療機関はある・・・223人(31%)
- ・かかりつけ医はいるが受診する医療機関はない・・・75人(11%)
- ・無回答・・・6人(1%)

「かかりつけ医がいる」57%最も多く、「かかりつけ医はいるが受診する医療機関は決まっている」の31%を合わせると、9割近い方が受診する医療機関を決めていることがわかる。

【問7】あなたは、現在治療中の病気がありますか。

現在治療中の病気が「ある」と答えた方の内訳は次のとおりである。(疾患が複数の場合あり)

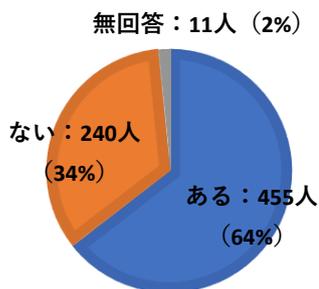


- ・高血圧・・・225人
- ・骨や関節、筋肉の病気・・・99人
- ・糖尿病・・・85人
- ・高脂血症・・・80人
- ・心臓の病気・・・60人 等

「高血圧」が最も多く、次いで「骨や関節・筋肉の病気」が多い。心臓の病気を含め、循環器系の病気が多いことがわかる。

【問8】あなたは、定期的に飲んでいる薬はありますか。(○はひとつ)

現在定期的な内服が「ある」と答えた方の内訳は次のとおりである。



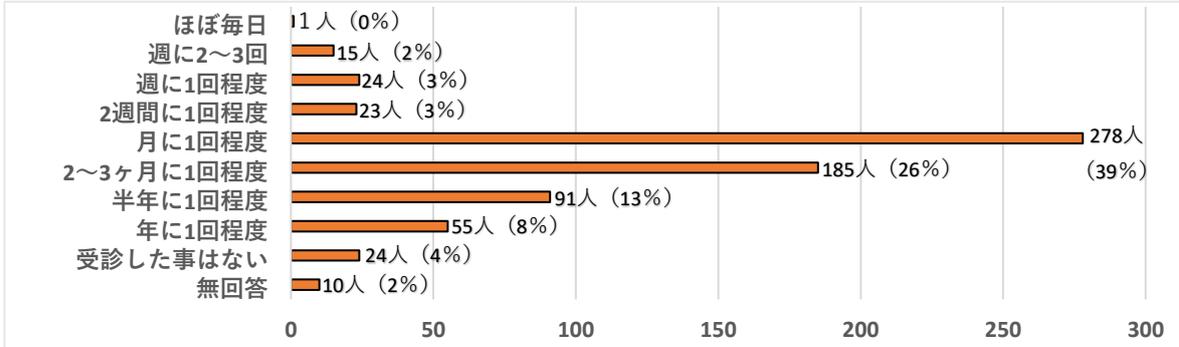
- ・1種類・・・103人
- ・2種類・・・96人
- ・3種類・・・72人
- ・4種類・・・54人
- ・5種類・・・40人
- ・6種類以上・・・58人 他、無回答

6割を超える方が定期的な内服があることがわかる。

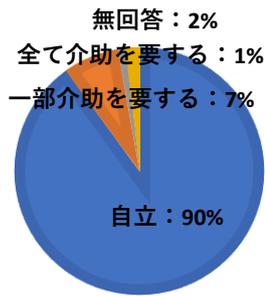
【問 9】 あなたはここ1年間で、どのくらい医療機関を受診（健康診断を含む）しましたか。（○はひとつ）

医療機関（健康診断を含む）の受診回数は次のとおりである。

「月に1回程度」が最も多く、次いで「2～3ヶ月に1回」となっている。半数以上の回答者が3ヶ月以内に1回は医療機関を受診していることがわかる。



【問 10】 あなたの現在の日常生活についてお聞きします。（○はひとつ）

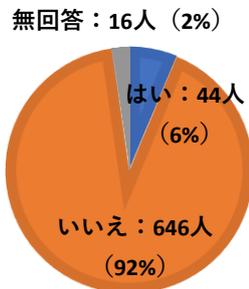


回答者の日常生活の自立度は次のとおりである。

- ・自立・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 636人（90%）
- ・一部介助を要する・・・・・・・・・・ 51人（ 7%）
- ・全て介助を要する・・・・・・・・・・ 7人（ 1%）
- ・無回答・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12人（ 2%）

「自立」が最も多く、9割の方が、日常生活の中で介助が必要なく生活できていることがわかる。

【問 11】 あなたは介護保険の介護認定又は市の事業対象者の認定を受けていますか。（○はひとつ）



介護認定を受けている方は全体の6%であり、介護認定の内訳は、次のとおりである。

- | | |
|------------|-----------|
| 事業対象者・・・3人 | 要介護1・・・9人 |
| 要支援1・・・8人 | 要介護2・・・7人 |
| 要支援2・・・8人 | 要介護3・・・2人 |
| | 要介護4・・・6人 |
| | 要介護5・・・1人 |

※要介護度が高い方などは家族の代筆にて返答があった。

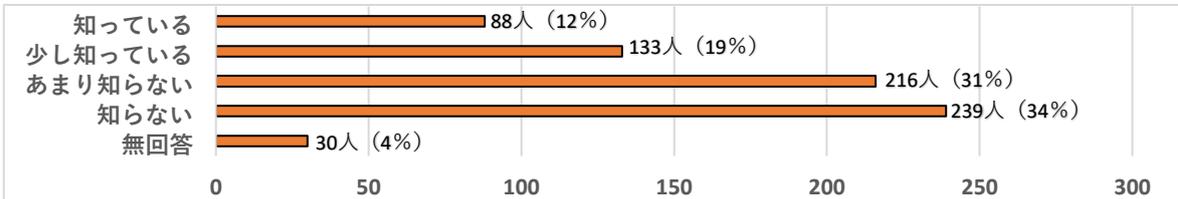
④ 在宅医療・介護について

【問12】あなたは在宅医療・介護についてどのくらい知っていますか。

(それぞれの項目で該当する数字をひとつ選んで○を付けてください。)

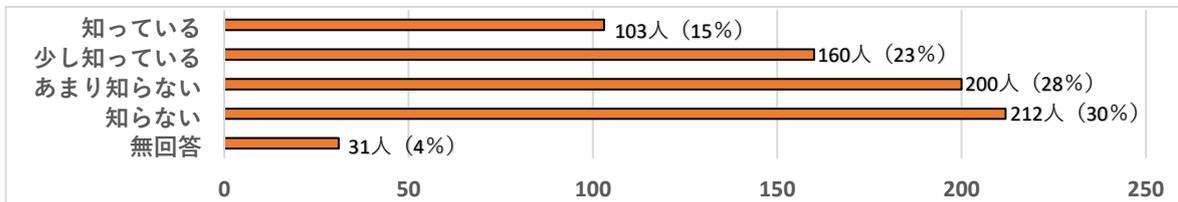
① 在宅で受けられる医療について知っている。

「あまり知らない」31%「知らない」34%を合わせると全体の65%となっている。このことから、在宅で受けられる医療についての認知度が低いことがわかる。



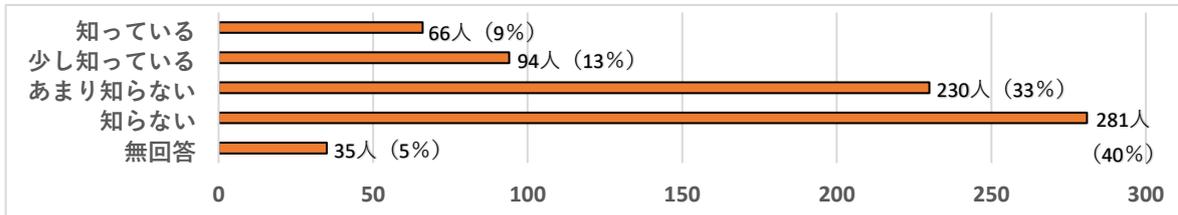
② 在宅で受けられる介護について知っている。

「知らない」30%「あまり知らない」28%を合わせると全体の58%となっている。
「少し知っている」23%については、在宅で受けられる医療と比べ、在宅で受けられる介護の認知度の方がやや高くなっている。



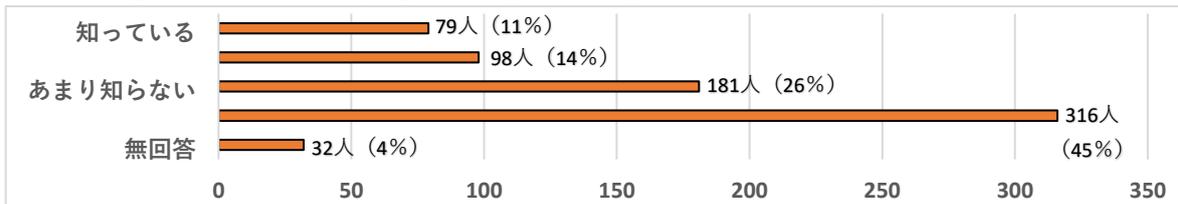
③ 在宅で急に病状が変わった時の対応について知っている。

「知らない」40%「あまり知らない」33%を合わせると全体の73%と認知度が低いことがわかる。



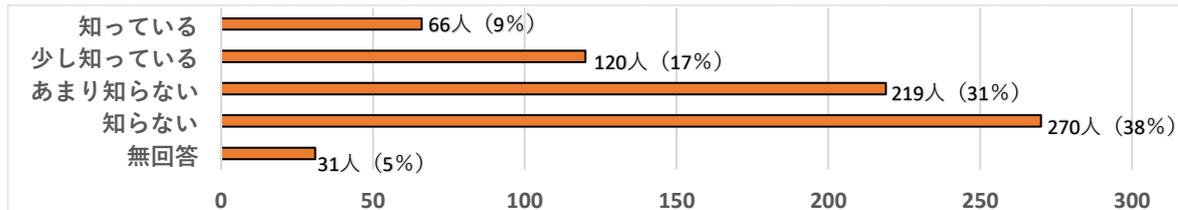
④ 在宅に訪問診療をしてくれる医師（病院・診療所）を知っている。

「知らない」45%「あまり知らない」26%を合わせると全体の71%と認知度が低いことがわかる。



⑤ 訪問看護でどのようなことが出来るか知っている。

「知らない」38%「あまり知らない」31%を合わせると全体の69%と認知度が低いことがわかる。

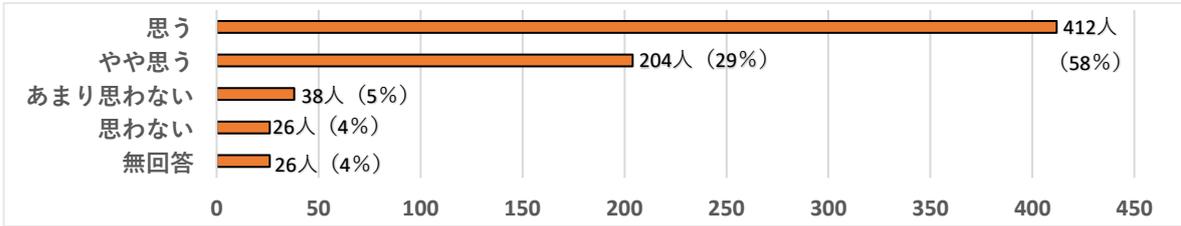


【問13】あなたは在宅医療・介護についてどの様なイメージを持っていますか。

(それぞれの項目で該当する数字をひとつ選んで○を付けてください。)

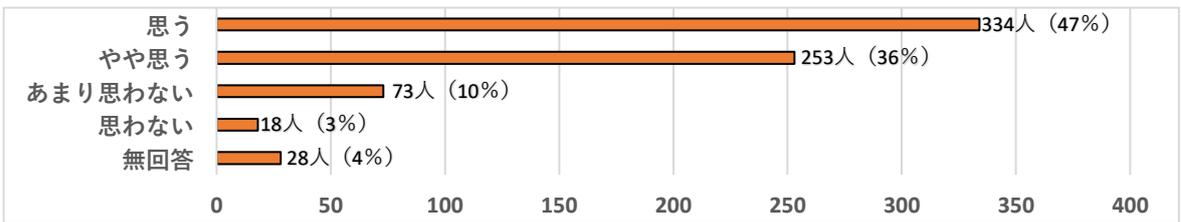
① 家族に負担（経済的・身体的・精神的など）がかかるのではないかと思います。

「思う」58%「やや思う」29%を合わせると全体の87%となっている。在宅で医療・介護を受ける場合、家族に負担がかかるイメージを持っている方が多いことがわかる。



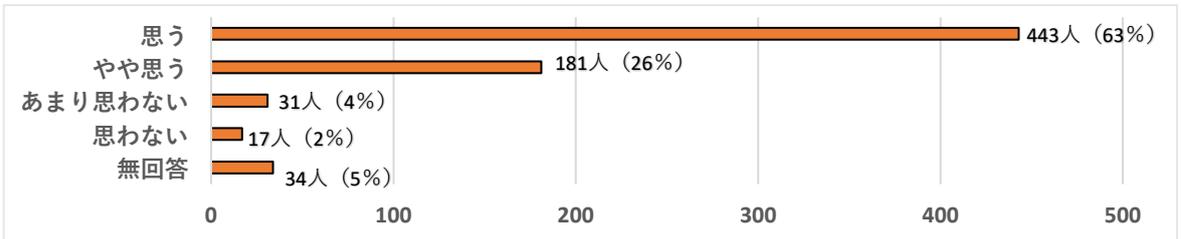
② 自分自身の負担（経済的・身体的・精神的など）が大きいのではないかと思います。

「思う」47%「やや思う」36%を合わせると全体の83%となっている。自分自身に負担がかかるイメージが強いことがわかる。



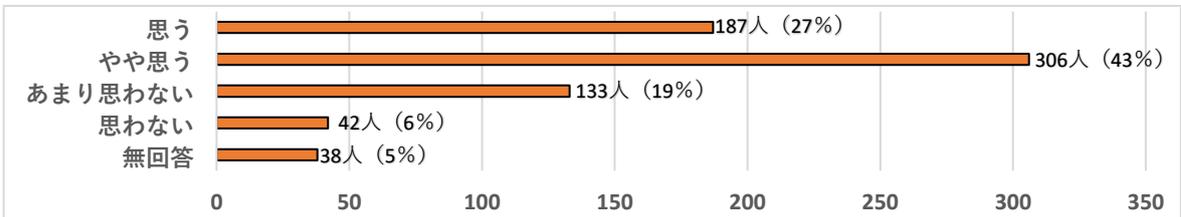
③ 在宅で過ごすために、部屋や風呂・トイレなど環境が整っている必要があるのではないかと思います。

「思う」63%「やや思う」26%を合わせると全体の89%となっている。在宅で過ごすために、部屋や風呂・トイレなど環境が整っている必要があると考えている方が多いことがわかる。



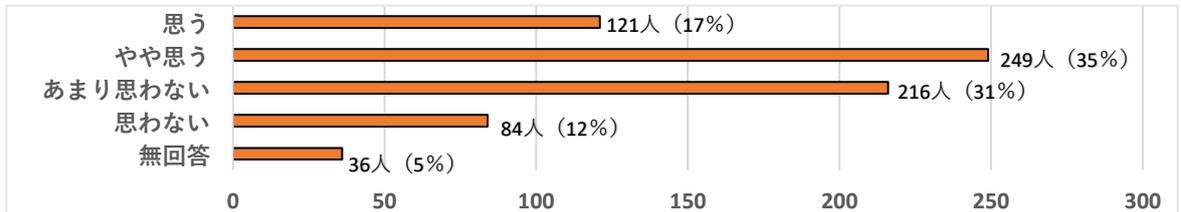
④ 今では、在宅でも痛みのコントロールをしながら過すことが出来るのではないかと思います。

「やや思う」43%「思う」27%を合わせると全体の70%であり、医療の進歩もあり痛みのコントロールに関しての不安は比較的少ない結果となっている。



⑤ 在宅で満足 of いく最期を迎えられるのではないかと思います。

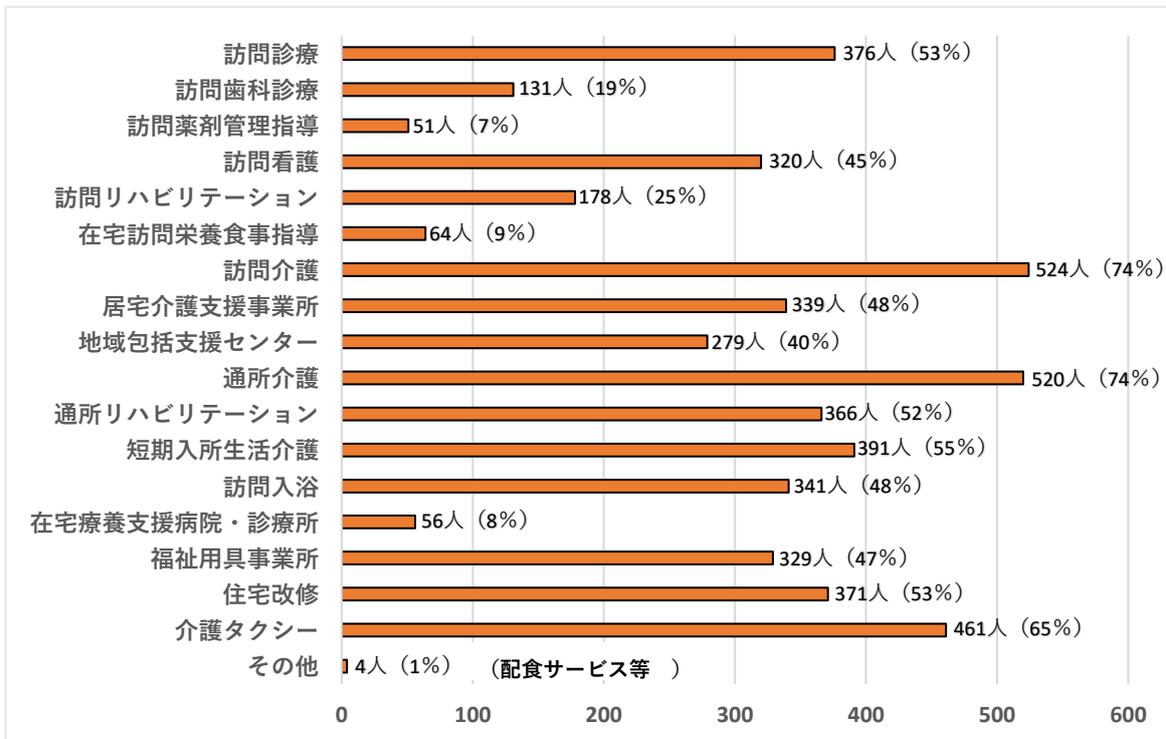
「やや思う」35%「思う」17%を合わせると52%。一方、「あまり思わない」31%「思わない」12%を合わせると43%と、在宅で満足 of いく最期を迎えることは難しいと思っている方もいることがわかる。



【問14】あなたは在宅医療・介護に取り組んでいる下記のサービスを知っていますか。（知っているサービスすべてに○を付けてください）

在宅医療・介護に取り組んでいるサービスのそれぞれの認知度は次のとおりである。

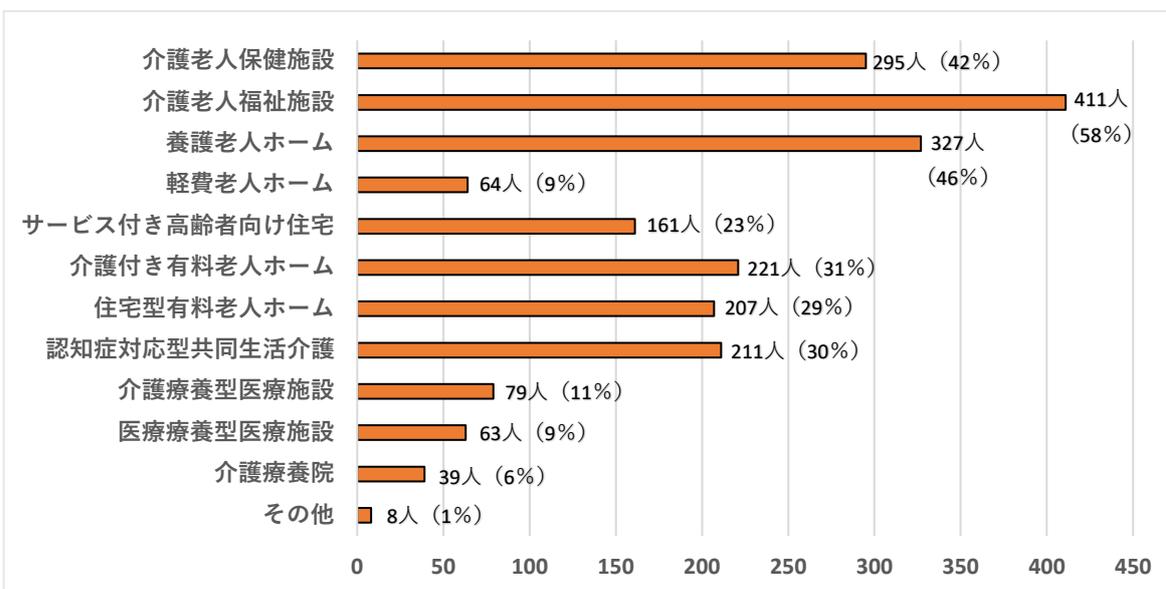
在宅介護サービスの認知度は比較的高いが、在宅医療サービスの認知度はまだまだ低いことがわかる。



【問15】あなたは宇佐市内にある下記の入所施設を知っていますか。

（知っているサービスすべてに○を付けてください）

宇佐市内の入所施設のそれぞれの認知度は次のとおりである。



【問16】あなたは病気や認知症などで長期の療養が必要となった場合、
どこで過ごしたいですか。（○はひとつ）

【問17】理由もお答えください。

病気や認知症などで長期療養が必要となった時、希望する療養場所は次のとおりである。

「わからない」が最も多かった。理由として「まだ元気」「今は考えられない」という意見が多かった。2番目に多かったのが、「病院などの医療施設」であった。理由として「専門職がいる安心感」「急な体調変化に柔軟に対応してもらえそう」という意見が多かった。

【問18】あなたは終末期（治る見込みがなく死期が迫っている）に、
どこで最後を迎えたいですか。（○はひとつ）

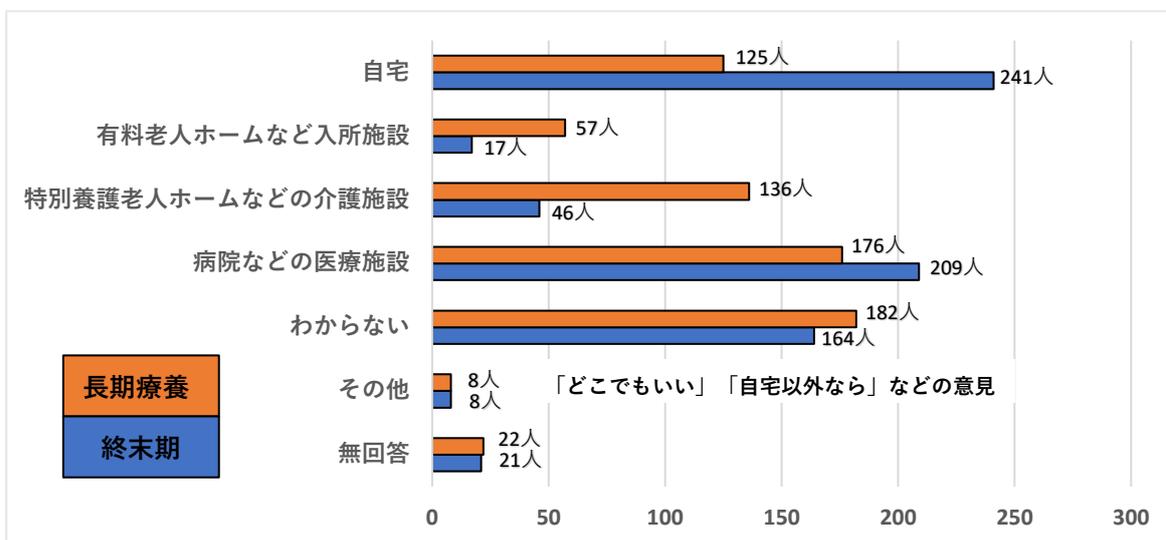
【問19】理由もお答えください。

治る見込みがなく死期が迫っている時、最後を迎えたいと希望する場所は次のとおりである。

「自宅」が最も多かった。理由として「住み慣れた場所だから」「安心できる」「落ち着く」という意見が多かった。

2番目に多かったのが、「病院などの医療施設」であった。理由として長期療養と同じ「専門職がいる安心感」などの意見が多かった。

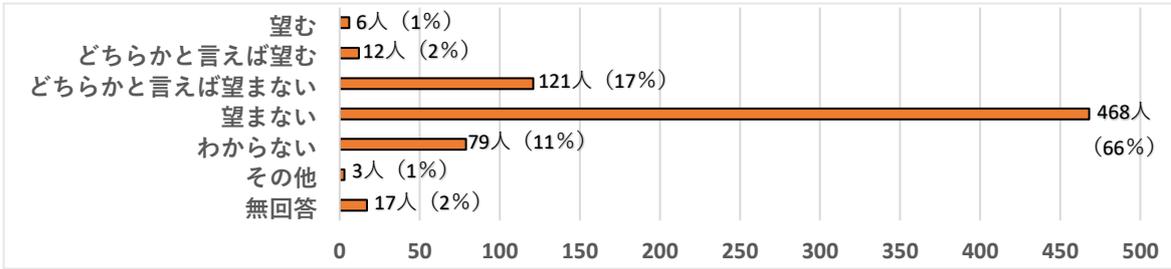
逆に終末期では、「有料老人ホームなど入所施設」や「特別養護老人ホームなどの入所施設」で過ごしたいという意見は減少しているのがわかる。



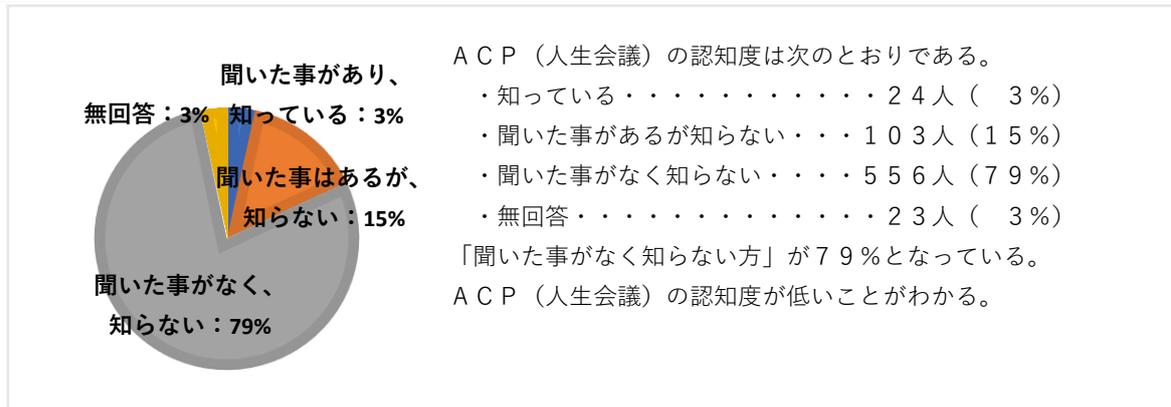
療養や治療は、専門職がいる場所を希望しているが、終末期となると「住み慣れた我が家」を希望されている方が多くなった。今はまだ元気なので、わからないとした方も今後のことを考えるいい機会になったとの意見もあった。

【問 2 0】 あなたは終末期（治る見込みがなく死期が迫っている）に延命治療を望みますか。（○はひとつ）

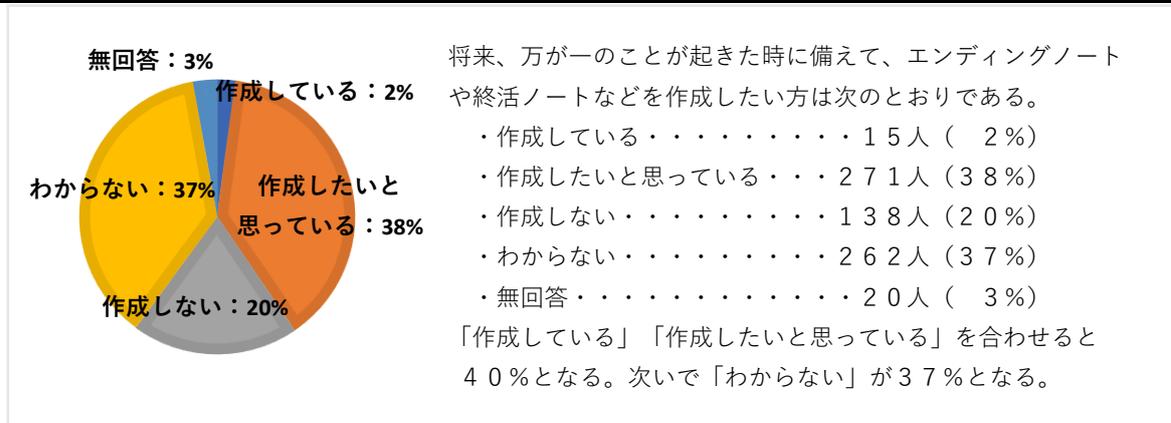
治る見込みがなく死期が迫っている終末期に延命治療を希望される方は次のとおりである。
 「望まない」66%「どちらかと言えば望まない」17%と合わせると全体の83%となっている。
 多くの方が延命治療を望んでいないことがわかる。



【問 2 1】 あなたはACP（人生会議）という言葉を知っていますか？
 また、内容について知っていますか。（○はひとつ）



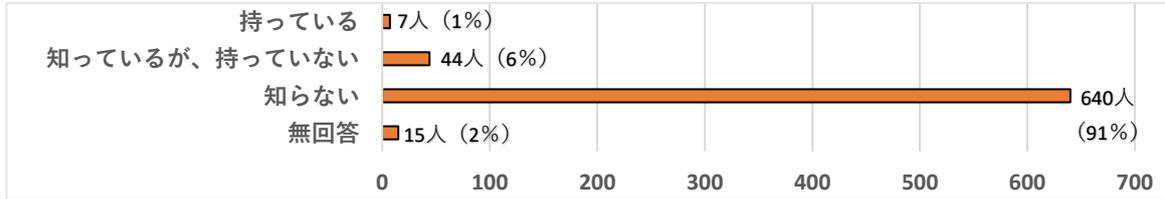
【問 2 2】 将来、あなた自身が万が一のことが起きたときに備えて、どのような治療やケアを受けたいのか伝える書面（エンディングノート・終活ノート等）を作成しておきたいと思いませんか。（○はひとつ）



【問 2 3】在宅医療・介護連携支援センターでは『最後まで自分らしく生きるために』『もしものときのために～私の医療と介護について』のパンフレットを作成していますが、知っていますか？（○はひとつ）

当センター作成の在宅医療・介護に関するパンフレットの認知度は次のとおりである。

「知らない」91%と高い割合を示していることがわかる。今後も啓発を維持する必要がある。

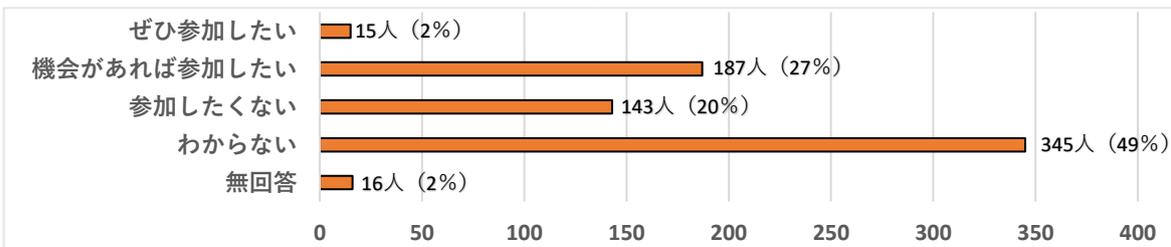


【問 2 4】あなたは、在宅医療・介護に関する講演会などあったら、参加したいと思いますか。（○はひとつ）

在宅医療・介護に関する講演会への参加を希望する方は、次のとおりである。

「わからない」345人（49%）が最も多い結果となった。

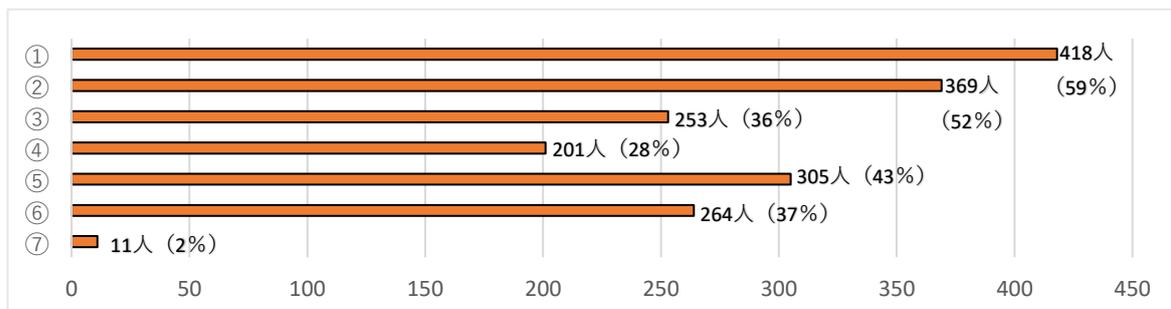
「ぜひ参加したい」15人（2%）「機会があれば参加したい」187人（27%）の方のテーマの希望内訳として、①在宅医療・介護について（53人）②体験談（7人）③終活（人生会議）、老々介護、終末期、お金について（各4人）などの意見があった。



【問 2 5】あなたにとって医療・介護を受ける場合、必要と考える情報は何か。（○は複数可）

医療・介護を受ける場合、必要と考えられる情報はそれぞれ次のとおりである。

- ① 医療や介護についての相談窓口について
- ② 健康保険や医療費の制度について
- ③ 休日・夜間に受診できる救急医療機関について
- ④ 医療機関・医師の対応できる疾患、専門分野について
- ⑤ 訪問診療・看護・介護・リハビリテーションなど在宅ケアサービスについて
- ⑥ 退院後などに在宅や施設で利用できるサービスについて
- ⑦ その他



【問 2 6】在宅医療・介護に関してあなたが思う事があれば、ご自由に記入して下さい。

※別紙参照